

無形文化遺産の伝承とコミュニティの役割 — 漢劇を例にして

Legend of intangible cultural heritage and the role of community
- Taking the Han Opera as an example

秦 磊
QIN LEI

1. はじめ

(1) 研究の背景

2006年4月20日、多国間条約である「無形文化遺産の保護に関する条約」が発効した。この条約の目的は、無形文化遺産を保護すること、無形文化遺産を尊重することを確保すること、国際的な協力および援助について規定すること等である。

漢劇は中国の重要な伝統劇種であり、中国戯曲の「花部の首」と呼ばれている。漢劇の独創的な「皮黄声腔システム」は中国の伝統戯曲の歴史と発展に大きな影響を与え、中国清朝時代には漢劇劇団と徽劇劇団が北京に進出し、徐々に融合して京劇を形成した。この歴史事件は中国演劇史上最も重要な「徽漢合流」と呼ばれている。1960年代の漢劇劇団は大繁栄期があった。その時期は武漢だけではなく、湖北省内の22の漢劇演出団が活躍し、漢劇の名優も輩出した。無形文化遺産の一つである「漢劇」は、2006年5月20日、第一陣番号IV-30として中国の国家級無形文化遺産リストに登録された。

(2) 目的

本研究の目的は、中国を代表する無形文化遺産である漢劇の歴史と現状、および漢劇の保護とコミュニティの関係の課題を明らかにすることである。

2006年「国家級非物質文化遺産代表性項目名録」と2011年「中華人民共和国非物質文化遺産保護法」が発効して以来、さまざまな政策が開始されていることから、漢劇保護の現状が変化した可能性があり、その変化とその原因を明らかにする必要があるからである。

2. 研究の方法

本研究では、文献研究、インターネット調査、インタビュー調査、ケーススタディと現地調査の5つの研究方法を行った。文献調査では、漢劇の歴史、研究、教育とコミュニティに関する資料を収集し整理した。インターネット調査では、漢劇を保護する事業を分析し、漢劇を保護するため重要な機関、組織、団体を明らかにした。その後、現地調査とインタビュー調査を併用し、武漢漢劇院、武漢市漢劇票友協会と文小佑漢劇団を訪問し、責任者と俳優などから漢劇に関する最新の情報を収集した。最

後に、全ての情報を統合し、漢劇のコミュニティを「伝承者」、「社会組織」、「民間劇団」、「学校」、「私営企業」の5種類に分類し、ケーススタディを行った。

3. 漢劇とその票友文化

(1) 漢劇の歴史

漢劇は中国の重要な地方劇種で、その前身は400年前に湖北省内で流行した「楚調」である。漢劇が創造した「皮黄板腔」は京劇を含む中国伝統劇種に重大な影響を与えた。

漢劇の流派は主に襄樊市を中心とする襄河派、沙市を中心とする荆河派、徳安市を中心とする府河派、武漢市を中心とする漢河派に分けられる。1861年、漢口開埠通商は、全省各地の戯曲芸人が漢口に集まり、「四派鼎一」の盛況を呈し、漢劇が形成された。

(2) 漢劇の票友文化

漢劇の最初の票友は清朝末期の戯曲好きの「士大夫階層」に由来している。「菊遊び」は漢劇票友活動の最初の形式である。その活動の内容は「毎年秋に会合を誘い、菊を觀賞して酒を飲み、音楽なしに漢劇を歌い、自ら娯楽とする」ということである。

中華民国時代になると、多くの経済力のある商人、公務員、弁護士、医師、記者などが票友の主体となった。この時代は数多くの「票社」が結成され、「票遊び」という漢劇を歌う活動が流行した。

早期の漢劇票友は漢劇伝播、革新、芸術批判の場合に大きな役割を果たした。

4. 漢劇をとりまくコミュニティ

(1) 武漢漢劇院

武漢漢劇院は単なる1つの漢劇院ではない。中国の文化事業の政策で、武漢漢劇院は「事業単位」という存在である。武漢漢劇院は2006年に、中国国家級無形文化遺産リストに登録された「漢劇」の「指定保護単位」になり、現在の漢劇を保護する事業の中心である。

2013年頃に、武漢漢劇院の人材不足問題があったが、10年間に2回、新規に漢劇生徒を募集し、人材不足問題を解消した。

近年、漢劇院の演出機会は増えている。武漢市

内だけではなく、漢劇芸術節として全国巡演を2回行った、2024年には第3回漢劇全国巡演も準備中である。

(2) 武漢市漢劇票友協会

武漢市漢劇票友協会は2014年に発足し、2017年に正式に成立した漢劇票友の社会組織である。協会は成立して以来、漢劇票友文化の代表として、積極的に漢劇の演出、票遊び、芸術批評、ボランティア、宣伝などの活動を展開している。協会の内部には大量の漢劇俳優や楽士などの退職者、漢劇の票友と愛好家が集まり、漢劇保護事業に参加している。

(3) 文小佑漢劇団

文小佑漢劇団は、漢劇票友文小佑が個人の財産で作った漢劇劇団であり、現存する唯一の漢劇の民間劇団でもある。文小佑漢劇団の公演設備は完備しており、配役も十分で、武漢市の武昌地区には独自の劇場がある。

文小佑漢劇団が、武昌地区で漢劇を宣伝し展示する場を作ることは非常に重要である。しかし、俳優と観客の老齢化、劇団と日常演出の管理、劇団の宣伝意識が不足などの問題も存在する。

(4) 武漢関小学校

武漢関小学校は武漢市江漢区に位置する公立小学校である。2013年から武漢漢劇院と連携し、漢劇を学校教育と融合する実験を行い、漢劇を国語、美術、スポーツなどの課程と融合し、漢劇の遺産教育と日常の授業とつなげた。

(5) 武漢紫陽漢劇博物館

武漢紫陽漢劇博物館は中国の唯一の漢劇博物館と湖北省初の戯曲博物館でもある。この博物館は公立博物館ではなく、私営博物館であり、館内の所蔵は漢劇主に漢劇の票友から寄贈された。博物館内には小さな舞台が設置され、博物館の外にも大きな舞台が建設されている。しかし、武漢漢劇院との商談はまとまらず、商業連携はない。

コミュニティの内部システムを説明するため、漢劇のコミュニティの図を作った。



図1 漢劇コミュニティの内部システム

5. 政府と漢劇コミュニティ

中国の無形文化遺産の第一原則は「政府主導」であり、漢劇院とコミュニティへの支援の場合に最も重要な役割を果たしている。

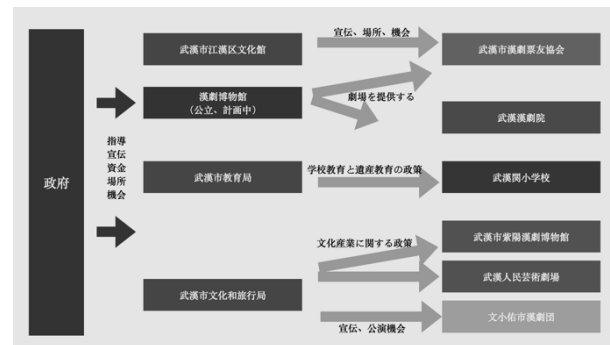


図2 政府と漢劇コミュニティ

6. 提言

「無形文化遺産の保護に関する条約」におけるコミュニティの役割に対する強調を理解し、中国政府の無形文化遺産保護政策における「政府主導、大衆参加」の原則に基づき、無形文化遺産の代表的な伝承者に対する中国政府の重視を考慮し、筆者は、漢劇を保護するあり方は漢劇のコミュニティを主体とし、代表的な伝承者である武漢漢劇院を核心とするべき、その上、国の法律と政府政策の支持の下で、社会全体と大衆の参加を励ますことであると考ええる。

Abstract: The Chinese government announced the list of China's intangible cultural heritage in 2006, and Han Opera was also successfully listed on this list. In 2011, the Chinese government promulgated the Law of the People's Republic of China on the Protection of Intangible Cultural Heritage, emphasizing the importance of communities in the protection of intangible cultural heritage. This study takes Han Opera as an example, and analyzes the history and current situation of Han Opera, as well as the community of Han Opera, to discuss the contribution of the community in the protection of intangible cultural heritage, as well as the methods of Han Opera protection under the Chinese system.